

令和元年度 第2回学校評議員会 会議録

1 日 時 令和2年2月4日(火) 13:30～15:00

2 場 所 本校 校長室

3 出席者

(学校評議員) 井上 勝巳 評議員(前 本校PTA顧問)  
 岡山 侑 評議員(川前地区自治会 副会長)  
 小野寺 浩 評議員(本校部活動後援会 監事、八幡平市体育協会 事務局長)  
 久慈 智春 評議員(国際ソロプチミスト盛岡)  
 榊原 世士 評議員(滝沢第二中学校 校長)  
 福島 啓一 評議員(前 岩手県南広域振興局農林振興センター)  
 (学校側) 校長: 神山 秀市 副校長: 三戸 望、菅野 修一 事務長: 浅沼 卓雄

4 会議録

進行: 三戸副校長

(1) 校長挨拶: 神山校長

(2) 説明

- ア 各分掌取組状況(三戸副校長)
- イ 進路決定状況(三戸副校長)
- ウ 大会等結果(三戸副校長)
- エ 新聞記事にみる盛農(三戸副校長)
- オ 学校評価結果(菅野副校長)

(3) 意見交換

委員氏名	質問・意見	回答等
A委員	特色ある行事を工夫し実施していることについて、保護者、教職員の評価は高いが、生徒の満足度では、決して同じ傾向で評価されていないのではないか。	多くの生徒が行事に積極的に参加しているように見受けられる。興味が学校行事以外のところに向いている者もいる。より良いものとするべく生徒会においても見直し案が議論されている。
〃	プロジェクト発表会の内容が、すばらしい。感激した。自ら学ぼうとする姿、粘り強さが育っている。もっと評価されて良いのではないか。	各学科のオリジナル発表であり、全国的に見てもレベルの高い内容と自負している。
〃	生徒評価No.10、No.11 に対応する教職員の自己評価項目は何か	教職員項目No5～No.7 が対応しており、授業力向上、学力を高める工夫等があげられている。なお、本校では、教員全員が研究授業を行っている。

B委員	保護者評価で「基本的生活習慣が身につくよう指導している」について、否定的回答が12%と高い。家庭環境も多様であり一概に評価し難い部分であるが実態はどうか。	複雑な家庭もあり、様々な影響を受けていると推察される。 年度初めから生活指導に力を入れきており、最近は大分落ち着いてきた。 盗難、いたずらの発生に際して、原因特定まで時間を要したことも影響したのではないかと
C委員	評価方法の見直しを提案する。 学校評価の評価項目「どちらともいえない」を削除して、設問について良否のいずれかで評価する方法に改めては如何か。 どちらに傾くか見たほうが今後の見直しに役立つのではないかと	ご意見を参考にさせていただき、次回の学校評価において改正するか否か検討させていただきたい。
〃	読書についての評価が低い。また図書館の利用に関しても同様である。どのような強化策を採るのか。	学級ごとに読書の取組を行っているところである。 自発的な読書時間に対し、スマホ対応の時間が勝ってしまっている。読書の良さを理解している生徒に限られてしまっているのも現実である。
D委員	読書量は、小学校、中学校ともに減少傾向にある。強制的な読書時間の確保が必要ではないかと	テコ入れが必要。文字に馴染むことが重要であり、読解力の向上を図るうえでも欠かせない。プロジェクト発表等における言語活動にも大きな影響を及ぼすものであり、読書活動を充実させたい。
A委員	乳幼児期における「読み聞かせ」が少なくなったことが、青少年の読書離れに影響しているとも言われている。	
C委員	ディベート活動も有益ではないかと	
E委員	盛農祭、プロジェクト発表会等、学校行事に参加させていただいた。生徒は堂々としており、内容も多様で充実していた。 GAP 認証については、先導的役割を担うものかと	本県では最初の取組である。 他校においても取り組めるよう、教員の研修会等で情報提供しながら、実施を呼びかけているところである。
〃	今後、上位の GAP へチャレンジしていくのか	品種を吟味しつつ、上位 GAP 取得に向けて更に取り組んでいく。
D委員	今年度は、台風等の被害が多かったが、PTA として支援すべき被災生徒の存在は	台風被害に伴う授業料の減免措置に伴い実態を調査した。 調査の結果、減免の対象となる生徒はいないと承知している。

<p>〃</p>	<p>問題行動の情報が一人歩きしており残念だ。正確な情報共有が必要である。</p>	<p>事実確認、原因調査を行っている最中に、不確実な情報が SNS で拡散されることがある。 学校では基本的に情報を提供することとしているので、ご理解願いたい。</p>
<p>F 委員</p>	<p>プロジェクト発表会等、集中して取り組んでいる姿が良い。 プレゼンの仕方、研究内容、地域を巻き込んだ活動、いずれも素晴らしかった。</p>	
<p>D 委員</p>	<p>学校のホームページで、「教職員の働き方改革の取組」についてのアクションプランを見た。先生方は、しっかり休めているのか。</p>	<p>時間外勤務を減らすべく、様々な内容に取り組んでいる。 活躍している部の顧問は、休日の時間外勤務が多い実態がある。 本年度、部活動指導員を 1 名任用し、教職員の負担軽減を図っている。</p>